

令和5年10月30日

作成者：総務課行財政改革推進係

令和5年度 市川三郷町財政非常事態宣言についての住民説明会

－ 会議録 －

- 1 日 時 令和5年10月17日（火）午後7時30分から午後9時10分まで
- 2 場 所 市川三郷町三珠総合福祉センター 3階 大会議室
- 3 出席者 【参加人数】約100人  
【町役場】町長 遠藤 浩  
副町長 依田誠二  
教育長 渡井 渡  
【事務局】総務課長 一瀬 浩  
総務課広聴広報係 高柳咲子 内藤隼人 芦沢祐弥  
総務課総務人事係 石原一彦  
総務課行財政改革推進係 一瀬 勝 伊藤昌也  
財政課長 森川規彦  
財政課財政係 深澤正弘 来城 聡  
財政課管財係 塩澤克哉
- 4 会議内容 (1) 開会  
(2) 町長あいさつ  
(3) 財政状況説明  
(4) 質疑  
(5) 閉会

## 5 会議経過

### (1) 開会 午後7時30分

### (2) 町長あいさつ

町長のあいさつの内容は、次のとおり。

本日は財政非常事態宣言についての住民説明会を開催いたしましたところ、夜分にもかかわらずお集まりいただき厚くお礼申し上げます。また、日頃より町政進展のためご理解とご協力を賜り、重ねてお礼申し上げます。

9月19日に「財政非常事態宣言」を発出致しました。本日は、現在の町の財政状況をご理解いただくことを第一の目的としています。直接、町民の皆さまと相互理解を深めていきたいと思えます。財政状況の詳細についてはこの後説明いたしますが、恒常的な赤字体質と硬直した財政構造により、時代のニーズに合った行政サービスの提供が難しい事態となっております。現段階においては財政破綻ではありません。が、このまま改革なく推移した場合、7年後には財政破綻となる状況が予想されます。行財政改革の検討の出発点である町の財政状況について、まずは住民の皆さまにご説明申し上げ、町一丸となってこの難局を突破していきたいと考えています。

合併により市川三郷町となって18年が経過しましたが、その間取り組むべきであった公共施設の集約や事務事業の見直しができなかったことに加え、町税収入や国から配分される地方交付税の減少もあってこのような状況になったものと考えております。根幹には、旧町や地域ごとの地域愛があったのだと思えます。改革を機に市川三郷町全体として資源の適正配分ができるよう転換をしていきたいと考えます。

現段階では、令和5年度から7年度までの3年間で、町の財政のみならず行政全般において抜本的・集中的改革を行うことで、持続可能な市川三郷町を目指し取組を進めてまいります。

本日は、主に現在の財政状況の説明を行います。今後の方向性は、仕事であります事業の最適化を推進する中で、従事者（職員）と仕事場（施設）を適正化していくことを考えています。行財政改革の目的は、持続可能な市川三郷町として、町民皆さまのウェルビーイング（幸福で充実した状態）の向上を図ることです。財政面やサービスの削減ばかりではないかと不安に思われている方もいらっしゃると思いますが、お金、人など資源の最適な配分を行うことで、例えば、

- ①リニア新駅に近く、自然環境にも恵まれた立地を活かした宅地開発や店舗等進出による「地域活性化に向けた施策」
- ②市川三郷病院、市川小学校体育館及び消防署の建て替え等による「町民の生命を守り、健康増進の更なる発展に向けた施策」
- ③六郷インターチェンジ周辺整備による「企業誘致」など

未来を見据えた新たな施策に着手してまいりたいと考えております。今、町民の皆様と

一丸となり行動を起こせば、必ず未来は開けるものと強い決意で取り組みを進めております。今後も、行財政改革をはじめ町政につきましては議会を通じて皆様と情報共有しながら課題解決に取り組んでいきたいと思っておりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

私が町長就任後のこれまでの取り組みですが、3列目の行政改革の列をご覧ください。まず、就任直後に行った事は外部人材の登用でございます。本町外で活躍している方々をお迎えし、これまでなかった考えや仕組みを取り入れ市川三郷町政を変革しようとするもので、以前は、町議、町職員OBが就任していた監査員でした。金融関係者OB、県職員OBにお願いし外部人材による監査体制を構築いたしました。続いて、副町長設置でございます。私が、市川三郷町町長選挙に立候補する決意を固めたのは、街宣車が毎日活動するさなか、町への愛着です。財政再建に加え議会構成は承知していたものの、選挙運動に入ってから発覚いたしました官製談合事件により町の信頼回復、行政のクリーン化、入札制度改革など課題・難題が多く、知事にご相談申し上げ、例外的に県幹部職員を副町長にお迎えすることができました。また、神明の花火大会を町からの補助金や職員の出労を無くす「自走型」推進のため大会会長をやまなし観光推進機構からお迎えし収益性の高いイベントへと進化しております。そして、3段目でございます業務量調査であります。全ての職員の仕事を調査いたしました。これを令和4年度に分析し、令和5年度、業務量の多い部署へ配慮する人事と行財政改革を専門的に取り組む行財政推進係を新設いたしました。

4列目をご覧ください。財政改革についてであります。就任後、事業実施計画について説明を受け、令和4年度当初予算に反映いたしました。給付支援型から公共支援型への転換でございます。対象者が重複する事業、対象者が極めて限定的な事業、当初の目的を果たしている事業を縮小し施設の改修事業や通学路整備などを重視しました。今年度は、国民健康保険税の適正化に着手しています。国民健康保険加入者だけでは会計を完結することができず他の保険加入者からも流入していた会計構造にメスを入れました。そして、8月までに行財政推進係が推進する体制も、町三役などで構成する推進本部、課長らで構成する幹事会、係長以下で構成する検討部会、学識者・金融関係者・企業経営者・一般住民で構成する推進委員会が設置され推進体制が構築され動き出したので、今般9月19日に財政非常事態宣言を発出した次第でございます。

新しい地域経営の裏面2ページをご覧ください。目指すべき姿はGDW町民の皆さまのウェルビーイング。つまり、幸福で充実した状態の向上でございます。町を一つの会社と見立てた施策マップです。人材を育て地域の財産とします。産業活性による所得向上、企業の業績向上などによる強い地域経済に裏付けられた財政を未来へ投資する施策の推進に充当する持続可能な市川三郷町を目指しています。

(3) 財政状況説明

資料に基づいて総務課長および財政課長より説明。

(4) 質疑

参加者からの質疑は次のとおり。

－ 発言者 －	－ 発言内容等 －
参加者	<p>ただいまお聞きしましたけれども、町の財政については多少理解したつもりではおります。その中で、取り組みの具体的について何項目か挙げてありますけれども、これについては、具体的にというふうに書いてありますけれども、より具体的に、これから検討されるというふうに思いますけれども、その進捗はわかるように必ずしていただきたい。例えば私が一番気になってるのは、合併の特例債の件ですけれども、10何年間何もしてこなかったからこうなってしまったんじゃないかなというふうに私は理解してるんですけども何もしてないけど公金を使ってですね何もそのままどんどん使ってしまったということが、この結果じゃないかなというふうに思ってるんですけども、ぜひこの合併の協議会においても3町が合併するときもですね、協議会が設けられて、いろんなことを改革改善をしようとしたと思うんですね。議会の中でも、それが我々、私は何も理解ができてなかった。どれだけ進んでこれが進んでるのかもわからない、そういう状況があるもんですから、これは私だけかもわかりません。そういう状況も、この具体的な取り組みの中の進捗がまたわからなかったら何もならない。この中で人件費は何%削減するんだと、学校いわゆる公共施設はどれだけ合併をすることによって、その費用がどれだけだけの費用対効果が生まれてくるのか、もし我々の会社だったらとっくに潰れてます。ぜひ、そんなことをちゃんと進捗がわかるように、私はしていただきたい。これだけお願いをしております。よろしく申し上げます。以上です。</p>
総務課長	<p>ご意見ありがとうございました。おっしゃる通りだと思っております。これから具体的な現在も取り組んでおりますけれども、具体的な内容につきましては、ぜひ皆様にはご紹介をしていきたいというふうに思っておりますし、計画が策定できたところでも、決まりごとだけではなくて、皆様とご相談させてもらいながら進めてまいりたいというふうに考えております。</p>

参加者

ちょっと二つほどご質問というかご意見をお聞かせいただきたいんですけども、現在こういう状況になったなというふうなことはもう多分数年前からある程度予測ができていたんだろうというふうに思います。確か前の町長さんのときに、有識者というかそういうコンサルティングをされる行財政、それが役場に来て、確かそういう講習をしてるはずだと思う。そのときにもう数年後には破綻する危険性がありますよというふうに、役場職員町長さんが聞いてるはずだと思うんですよね。町長さん変わりましたけれども、役場職員さんは多分ほとんど変わらない。今まで一体何をしてたんですか。皆さん方のしっかりしたそういう提案とか意見があれば、もっと早くこういう状況から回避できたんじゃないかなというふうに思います。それに対して、役場の職員さんの意見をお聞かせいただきたい。もう一つは今回の9月19日、町長さんが発せられた宣言に対しては、また評価するものだと思います。ただ、これをすることによってですね、今町に住んでいる若い人たち、そういう人たちがこの町から離れる。また、他の地域から市川三郷町に来たいという人も多分減ってしまうので、そういうことを考えた上での宣言だったのかどうか町長さんにお聞きしたいと思いますよろしくお願いします。

総務課長

ありがとうございます。まず一点目の最初の職員の関係の方を説明させていただきます。何をしていたのかということでございます。我々としてもですね、危機感を持っていた職員と正直それほどでもなかった職員がいたのは事実かなというふうに思っております。我々としても、こんなことをしていかないと良くなれないと思います、という提言はそれぞれ立場ではさせていただいてきた人間もおりますが、なかなかそれを実行まで移せなかったという思いで、本当に今残念な思いをしております。当時の先輩方も一生懸命頑張ってやっていただけたと思っておりますし、我々も当時からもっと熱くそういう言葉を出していればというふうに思って責任を本当に重く感じているところでございます。その反省をもとに、現在は遠藤町長のもと、我々職員一丸となって、若手からベテランまで同じ思いを向いて、皆様の期待に応えられるよう、また、これからも町が続いていきますよう努力してまいりたいと思っております。よろしくお願いたします。

町長

今、総務課長も言っていたことなんですけども、関連するんですが、今の状態は破綻ではなくて、このまま同じ状況が続けていけば破綻することになる可能性がありますよ、ということ言ってるので今、転換を

して新しいまち作りに切り替えていけば必ず未来は開けるということですから令和2年ぐらいからこの職員も含めて行財政についての勉強会を始めた。もちろんそれ以前からも財政課を中心にいろいろ事務事業があるし、当初予算編成なんかは議論の中で生まれてきたものでございます。それぞれ工夫をしながら、予算は組み立てていて、その時々の中で最大限の努力は、私はしていたというふうに思います。今回私が就任をさせていただいて、議会でも、あるいは住民の皆様でもご批判を多く受けましたけれどもそういったことも含めて、今後新しい町に切り替えていくということをするその転換点ということで今回非常事態宣言を発表させていただきました。つまりここを日々新しい町作りに切り替えていくんだという宣言というふうにご理解いただきたいというふうに思います。そういう方向性が出てきたので、宣言を発送させていただいたということです。これからこういったことをしたことによって、若い人が出ていくのではないかとございまして、それ以上の成果を得られてですね、そして将来若い人たちがこの地に住む、そしてこの地に遊びに来てもらう、そういったまち作りを目指すために、宣言を出し、みんなで頑張っていきましょうということをお伝えをしているところでございます。

参加者

ありがとうございました。確かに町長さんに言われてることもよくわかるんですけども、今まで私達は過去の町長さんたち言ってる財政は大丈夫ですよという言葉に正直騙され続けてきたわけです。ここで例えば最後のチャンスなんで今町長さんおっしゃいましたけれども、このチャンスがもしものにならなかつたら市川三郷どうなるんですか我々の生まれたこの街はどうなるんだろう。そのくらい真剣に我々も考えてます。町長さん、役場職員の皆さん方努力されるのはありますけれども、本当に心を入れ替えて頑張っていたかなければ多分この事態っていうのは本当に解消できないんじゃないかというふうに思ってる1人であります。我々町民は何もできません。全て、役場の町長さんたちの力でなければ、町を変えるのはできないと思います。我々も協力はしますけど、ぜひ強い本当に強い意志で頑張っていたいただきたいと思います。以上です。ありがとうございます。

参加者

聞きたいことが三つあるんですけど、まず一つが、合併市町における施設数が一つ減ってる。一つだけ減ってるっていうのは、これはいいことなのか悪いことなのかっていうことと、神明の花火大会の開催の数を

1年に1回じゃなくて、もう増やすことができないのかなっていうことと、そもそも僕らは何をすればいいのかっていうことですね。例えば、若いとかね、同世代の人たちを町に帰ってきてもらうように何か連絡するとか、何か何かわかんないけど、会社を立ち上げればいいのか、何かお金を稼げばいいのか、何かわかんないんですよ、僕らは何を具体的にやればいいのか。教えてください。

総務課長

ありがとうございます。3点ご質問があったと思いますが、私の方で2点まで回答させていただきます。合併した中で一つだけ統合ができたとか、見直しができたということはいいいことなのか悪いことなのかということだと思うんですが、ここに今の状況にいたっては、もっと学校とか見直しが進むべきだっただろうというふうには思っております。それから新明の花火大会の開催の数を増やしたらどうかと本当に貴重なご意見ありがとうございます。私も数年前からそれは考えておまして、いろんな関係機関とも協議を進めているところですが、なかなかご理解いただけないところもあります。私達もそれを望んでいるところですので、いろんなこれまでの働きかけのみならず、努力してそういうことが実現できればと思いますし、花火大会だけでなく街にそういう人が呼べるようなイベントを現在も考えておりますので、またそういうところにご意見いただいたりしても、私達が何をすればということにも繋がるかもしれませんが非常にありがたいと思いますので、またよろしく願います。

町長

はい、ありがとうございます。大変何て言いますか、核心触れた部分だというふうに思います。一つは神明の花火大会もこちらの方で開催をして、お客さんに来ていただくと町を賑わしていただくということは大切なことでもあります。またもう一方ですね、逆に神明の花火を外に出していくということも今考えておまして、まず信玄公祭りとのコラボレーションを去年からやらさせていただきました。去年も舞鶴城公園で、信玄公祭りの前夜祭神明の花火大会 in 甲府ということで開催をさせていただいて、多くの以前の前夜祭とはもう比べものにならないくらい多くのお客様がおいでいただいたということです。今年も10月27日金曜日の夜でございますが、同じように舞鶴城公園で神明の花火 in 甲府ということで開催いたします。また近いうちに山日新聞の方で取材を受けましたけれども実はオマーンという中東のGCC6カ国の一つでございますがこの交流ができました。ここは中東の工芸の国、今は天然ガスなんか

で非常に裕福なところなんですけれども、私ども和紙とハンコと花火の話ということで伝統工芸の街ということで親しくお付き合いをさせていただいております。10月の頭にですね、本町の齋木煙火本店それからマルゴー2社がですね、オマーンの方に伺って、実は11月18日がですね、オマーンの建国記念日ということで、ここで花火を上げること、今年はまだ時間的に無理なので来年の憲国記念日には上げるということで打ち合わせをしてきました。こういうことですね、神明の花火を外に出していくということもできますので、こういったことで、この市川三郷町の魅力は発信できるというふうに思っております。また私達は何をすれば良いですかということなんです、まずそういう動機を気づいていただくことってというのは大切なことだと思います。ぜひこれば自分に問いかけて何ができるのか。政治の原点は自発性と貢献。貢献意欲これが自治を築いていく根幹だというふうに思っております。まず自分が何ができるのかを考えていただいて、そしてできることをやっていただくということが大切だというふうに思います。以上です。

参加者 財政破綻回避に向けて全力で努力をされると思うんですが、あえて伺うんですが、もし財政破綻7年後にしたのはどうなるんでしょうか。小さい子もおりますので、気になります。教えて下さい。

財政課長 例えばということでございますが、〇〇市の例で説明をさせていただきます。ただし先ほど町長からも説明がありました通り、市川三郷町が現在、財政破綻というわけでは決してございません。ただし、このままの行財政運営を続ければ、そういったことにもなりかねないので全力でそれを回避したいという思いでの宣言でございます。それでは〇〇市の例でございますが、〇〇市が財政再建団体に陥った際の取り組みといたしましては次の4点が挙げられます。1点目といたしましては税率見直しによる市税の引き上げ、2点目が受益者負担の見直しによる使用料手数料の引き上げ、3点目といたしましては、法令に基づくもの、住民生活に真に必要な最小限の事務事業に限定をされる。また最後4点目といたしましては補助金の原則廃止などがございます。結果といたしまして現在でも人口減少率が全国の市でトップという状況に陥っております。本町におきましては、〇〇市同様に、そのスパイラルに陥らないよう財政破綻に陥る一歩手前、現段階におきまして、行財政改革を行い、行政のスリム化や事務事業の見直し、公共施設のあり方検討を通じまして持続可能な行財政運営の転換を図ってまいりたいと考えております。



参加者 はいありがとうございます。絶対に避けなければいけない状況だと思いますので、危機感を持って絶対回避していただけたらと思います。

参加者 よろしくお願ひします。ちょっとこの資料の中で気になったんですけども、外部委員とされる方はどういった方が構成されてるんでしょうか。例えば山梨大学の教授だとか、そういう外部の方なのかそれとも町の出身の方なのか。それに対して費用が発生しているのか。それとですね、改革による経常収支比率の改善ということでこのパーセンテージで3.2%減ります。これ3.2%という数字だけ見るとかなり微々たるもんだなっていうのが正直な印象です。ただし、個別分母の金額が増えると3.2%っていう金額ってのばかでっかい金額になってると思うんですよ。ですのでぜひ収支というところを上げていただきたいというお願ひです。またそのためには企業誘致や住民の定住ですね、こういったことの取り組み、正直今まで僕も50年近くはこの町に住んでおりますが、全然進んでないなという印象を受けています。特に戸建ての住宅とかは、民間頼みというか、一部住民が増えている地域もあれば完全な空き家ばかりの地域もありますよね。その辺を行政が主体となって、住民の流入と企業誘致ですね、こちらの方を進めていただきたいと思います。私もインフラ関係の仕事に就いておまして、今までの付き合いが市町村と市役所の方だとか、かなり市単位で強力な推し進めているところもありました。ちょっとイレギュラーだなんて思うようなプレーもされてるところもあります。そのぐらいの危機感を持っていただければなと思います。よろしくお願ひします。

総務課長 ありがとうございます。私の方で最初の外部委員の関係のところをご説明させていただきたいと思います。本町出身の方ももちろん多く入っていただいておりますが、先ほどお話のありました通り、山梨大学の先生で行財政の方の専門の先生に入らせていただいて、その方を座長とさせていただきます。それから町内ですね、経営層の方、いくつかの会社ですね、トップの方々、その経営的感覚で本町の行財政的な部分を見詰め直して、ご指摘をいただきたいという思いで入らせていただいておりますし、一般公募で入られた方もいらっしゃいます。そして金融機関の責任者の方、などもそういう経営的な視点でご意見いただけるものと思っ、ご参画いただいております。それからそういう方々に費用が発生してるかということですがこれは規定がございませ

て、わずかではありますが、年間を通して本当に本当にわずか数千円ぐらい、ほぼボランティアという形で、参画をいただいております。

町長

私どもが目標とします。経常収支比率95%ということなんですけれども、もちろんこれは分母対分子のパーセンテージということになります。ご指摘いただきましたように実際要するに収入を増やせっていうことだと思いますけれどもGDWのところ。まず私どもが考えているのは、この経済地域経済とそれからその財政っていうのは一対だというふうに考えてございます。地域の経済が活性化をしないと財政の方も貢献をしていかないという考え方で、ただ一つの例で言いますと企業誘致に伴ったことで収入を多くしていくという考え方もございます。今行っているのはラウンドテーブル市川三郷と言いまして、これは地元の企業、約300社にお声がけをさせていただいて、いろんな情報を提供して、意識改革をしてもらう、そして業績向上に繋げていっていただきたいように、今そういうラウンドテーブルというものを設置をしております。これも昨年度から始めまして4回実施をしていると思います。今後もこれは続けていってですね、企業の業績を伸ばしていって、地域経済を活性化、また逆にですね、外からのお金、外貨を稼ぐというふうな意味でリンケージ人口、関係者を増やして、ふるさと納税を多くしていけないかということで今取り組みをさせていただいております。本町は比較的山梨県内でもですね、ふるさと納税が割と本町の規模にしてはですね、多くいただいております、その筆頭がイノアックで生産をされているムアツ布団ムアツ枕、マツコ・デラックスさんが宣伝してますけれども、これが2億円稼いでおります。これをもっと多くできないかということで、いろんなSNS等を活用して広めていくというところ、そういう関係人口を増やして外貨を増やしていこうという考え方。先ほども申し上げましたように、国際戦略も含めてですね地元のいいものを外へ出して企業が頑張ってもらって、企業業績を上げていただくということも考えてございますしそういったことを含めて、町の町民所得これは全体像になりますけれども増やしていくということ、それに裏付けをされた財政。町の納税をしていただく、財源を増やしていくというそんなことを考えてございます。またいろんな考え方もありますけれども、まずそういったところで歳入収入は増やしていくことを今考えております。

参加者

ありがとうございます。待ったなしの状態だと思いますので徹底的に進めてください。

参加者

今資料を見させていただいてるんですが、3ページに示されている非常事態宣言について、従前通りの行政経営の見直し、という反省といいますか、流されているのですけれども私は役場の仕事の内容について詳しく知ってるわけではありませんけれども、この現在の状態だとか、そして何か不祥事が出るくらい大きい大規模な記者会見か何かあってテレビの中継で見ましたけれども、ああいうあのときの話があったことから想像すると、やっぱりこの見直しというのは非常に重要なポイントになってくるんじゃないかなと思って、ぜひ皆さんの真剣な見直しというふうに期待をしていきたいと思います。先ほど参加者さんの発言の中で、自分たち町民としてはよくわからないけど役場の皆さんしっかりやってですねのお話。確かにその通りだと思いますけれど、役場の皆さんの頑張るその姿を押す町民のあの一体感というか、意見というものも大切なので、私達は地元の1人として理解を深めていきたいなというふうに思います。それでこの資料の中でしかちょっとわからないんですけど、先ほどから神明の花火ですね、の話が何回か出てるんです。私は残念ながら現場で見たことはなくて、家から花火を見て、綺麗だなというふうに感心して見ていた一人ですけども、遠くから身延線の電車を見ると、本当に満員の電車で多分会場賑わったんだらうっという想像するわけです。ですが町内の色んな人たちに聞いていると、結構賑やかなのは会場周辺だけであって、あの街の中の商店街とか、そういうところはさほどでもないというふうな意見もあったんですが私は見たことがないのですが、多分その方のご意見が正しいと思うので、賑やかで素晴らしい神明の花火の大会の日がその町の中にも住民1人1人に浸透していくような働きかけ町民を巻き込んでいく活動展開の仕方っていうのが必要じゃないかなというふうに思いました。それからもう1点ちょっとあっち行ったりこっち行ったりして申しわけないんですが、合併時に資料がありましたよね。合併時に市川三郷町が資料14ページですけど、給食センターが3個あったものが減ってないんですね。私は給食センターは学校で作られて本当にホカホカのお弁当がすぐ食べられるのが理想だろうと、思っている1人なんですけれどもここにこれが至ってしまったのはそういうことも言ってもらえませんので、私はこの3地区で3つの給食センターは多いかなと気がするんです。ですから、もうちょっとこの配送の仕方とか、工夫をしてその辺を見直すところも出てくるんじゃないかなっていうのを、この表いただいて思いました。町のいろんなことの勉強不足だっことで反省をするんですけども町長さんがおっしゃる通

り今決断をしてやり出さないと間に合わなくなって、その言葉を町民や全体のところとしてみんなでやっていくっていうことをするように、常に町民と連携をとる情報を流していくっていうことを、ぜひ劣らないようにお願いをしたいと思います。

総務課長

ご意見本当にありがとうございます。まず我々としましても、協力をしていただけるという一言が本当にありがたいというふうに思っております。私達はもちろん今までの気持ちも入れ替えながら必死に努力をして進めていきたいと思っておりますけれども、やはりそこに成功の大きな鍵は、町民の皆様のご理解とご協力だろうというふうに思っております。本日ここで現在の状況を説明させていただいたのもそのためでございます。ぜひ参加者様のご意見のように頑張っていく我々を押し上げていただきたいと思っておりますし、少しの間もしかしたらご迷惑をおかけしたり不便をかけることがあろうかと思っておりますが、そこを何とか我慢をしていただく中で、一緒に前を向いていただけたら本当にありがたいと思っておりますので、今後ともその辺はよろしくをお願いをしたいと思います。また神明の花火の町の状況のこともご心配をされてご提案のお話をいただきましたが、現実的にはそういう場面もあろうかなというふうに思っております。できるだけ町の中に、神明の花火をやることで、お金が落ちたり、町民の皆様の生活に還元できるようなことができるようにこれからも頑張っていきたいと思っておりますし、そのために町長が就任をされてから、外部の方を会長さんとしてお迎えし、経営的な花火大会ができるよということ、ここ数年、努力をしてきております。その成果が、今年度は少し出てくるのではないかなと思っております。町の方から出していた補助金なんかも、何もなくてもできるような形で返金されそうだとこのころまで何とか改善がされてきております。ぜひ、こんな形を進めてまいりたいと思っておりますし、また皆様の方からこんなふうにやったらどうだというご助言とご提案がありましたら、よろしく願いしたいと思います。給食センターのお話がありましたけれども、現在のこの14ページにありますことも含めてですね、全ての施設のあり方を見直しております。ご提言をいただきましたので、真摯に受けとめながらも全ての施設を検討してまいりたいと思っておりますので、現段階で個別のものに対するお答えは控えさせていただきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思います。

参加者

よろしく申し上げます。私の息子がもう24歳になりますけど、市川

高校の時に増穂・峡南と市川高校が合併ということで、そのときに県の方に言われたことが、お金がない人口が少ないということで教育をある意味粗末に扱われたっていう、とても無念な気持ちがそのとき感じたんですけど、それをまたここで財政難だということで、子供たち、教育に関することを削られるっていうことがすごく私としては嫌だな嫌だなってあんまりそういう感情的ことは言うてはいけないかもしれませんが何か粗末にされるようなことにだけは絶対なってほしくないと思います。やっぱり子供が大事にされないところは発展ないと思います。なんで本当に子供関係教育関係、合併するものがあまりしてないってそういうそれで良くないっていう方もいらっしゃるかもしれないんですけど、とにかく子供が大事にされない、それは発展が絶対ないと思うので、そこだけは本当譲れないっていうか、いただきたいなとすごく思います。

教育長

教育長の渡井渡と申します。貴重なご意見ありがとうございました。教育に関しましては、今のおっしゃられた通りですね、子供達をどのようにですね、育てていくのかということは、非常に重要な問題でありまして、一番大事なのは、この子供たちが一番いい教育ができる状態はどういうことかということ、真剣にですね、考えて真剣に専門家のご意見を伺いながらですね、これから検討していきたいとしますので、第1にその辺は一番重要に置いていきたいとします。ありがとうございました。

参加者

9ページの残念ながら上から3番目の県内順位ちなみに1位や4位とか5位、市町村名ありましたら、参考に載せて頂きたい。もう一つご質問ありまして、関連で14ページ市川三郷町公民館や診療所等書いてありますけど自治体Aなど僭越ながら、市町名を参考までに教えていただければ、参考になると思います。よろしくお願いします。

総務課長

ありがとうございます。9ページの2、3、4位はどちらかというお話ですが、これは申し訳ありません。他の自治体からも市町名は公表しないでくださいということで言われておりますので、そこはご理解いただきたいとします。また、14ページのABCDEのところですが、先ほど私もちょっとだけ説明させていただきましたが、こちらについてもやはり自治体の方で名前は公表しないでというふうに言われておりますのでご理解いただきたいとします。

参加者 町ですか市ですか。財政規模とかそれぞれの体系があるんですけど、その点はいかがなものでしょうか。

総務課長 すみません。9ページの件については、やはりそこも控えてくれとのこと。14ページのことにつきましては、ここに書いてあります通り、合併と合併をした市と町でございます。

参加者 マスコミ入ってますけども、私の顔をうつさないでください。よろしくお願いします。それでは町長非常事態宣言を出して、説明会をしてその中身は、行財政改革この非常事態宣言と説明会イコール行財政改革これは町民にもうこういう状況だから、行財政改革しなければこうなりますよいうことを押し付けているんじゃないか。数字的に見れば分かりますが、ですけど、ここで皆さんに聞けば、しょうがねえのかな、やむを得ないこう思っているんじゃない。ですけど、今この財政状況なり町のこういう立場をどうしましょうか皆さん。そのために皆さん集まってくださって。こんだけの人からどういうふうになれば町が良くなっていくか意見を言える聞かせてください。その行政行財政改革といいますか、行財政改革のアクション。宣言を持って説明会をしたら、あとは皆さん理解をしてください。というのはちょっと待ってやり方としてはどうかなって思う。公共施設っていうけども、公共施設、この辺りをどうしてなったのかという反省。それはきちんとまず、今までのそうなった原因は何なのかこの反省がなければね今町長が説明してるようなことを皆さんがわかりましたって言えるかとまた同じじゃない。私はそう思いますよ。その辺はしっかり。ちなみにですね、小さなことですけども、大塚の保育所の今、保育園児が幾人か町長ご存知ですか。数年前私は変なとこで聞いたことなんですけど、数年前私から12人ぐらい園児だったと思います。それを今、40人って言ってますよね。なんだと思いますか。勤めをしている人たちはですね、勤められ勤めながら預けてまた帰りに子供たちがいいからだという理由があるということ。ですから公共施設だけです。どう使うか。どう使うかの議論はなくて、数字だけ並べてはいそうですか。何か数字並べれば、その通りだろう。地方自治なんていうのですね、市川三郷町を単位にするんじゃないんですよ。三珠、市川、六郷とそれぞれに地方自治があつていいという思います。それを合併してですね、事実そのものをみんな終わって、町の方へ今市川三郷町三珠地区で、なにをしていますか。町民はどう湧き上がらしてい

ますか。やっぱり地域が活性化しなければまち作りにはならないと思うんです。先ほど町長が、リニアに隣接する住宅開発をそのまま総合計画載ってる。むしろここへ説明するとき、具体的にこういうふうに住宅開発・宅地開発を考えます。だから協力してくれ。これでなければ皆さん納得しません。まだ土地開発からと考えてます。一方どんどんあれじゃないですか。構造改善がしてるじゃないですか。どこへ持ち帰りするんですか。非常宣言を皆さんにもですね、数字で、これは大変だ。どうしようもない町から言われた通りにしなきゃならんいうのも、それはみんなで頑張ろうじゃないか。事業がそうだ。そういうふうに思っているやり方だったら。もうちょっと言いたいのは、ここに並んでる職員さんが一生懸命やってるって言うてるが町長から見て、職員は本当にちゃんとやってるのか、改革をしよう町作りをして税収を増やそう。こういう気持ちに職員が一丸となっていますか。私もあっちへ行く身ですけどね。この宣言が出されて、会う人にもう3人も4人も市川三郷町大変だなって言われ、今普通にやっていますよって言ってますけど、そういう状況が。ですからぜひ宣言をして説明会をしながら、行財政改革を突き進んで。これは絶対。その力をまち作りとしてどうしましょう。こんだけ大勢集まったことなんていうのは過去にもないと思いますよ。以上です。

総務課長

ありがとうございました。参加者さんのおっしゃる通りだというふうに我々も理解をしております。本日は先日の記者会見と、それから今日今現在の財政状況を皆様にご説明を申し上げることが第1の目的だというふうに、町長も当初冒頭お話しした通りでございますし、今日は皆様に現在、うちの町がどうなのかということをお伝えできることが目的で開催をさせていただきました。この後皆様の意見を伺いながらというふうに、また私もちょっと申し上げましたが、たたき台がなければ、きっと皆様の何を考えてもいいのかということ、先ほども私達は何ができるんだというようなご質問もあった通りだと思いますので、年内にどんなふうなことが町としても考えていこうと思ってるという方針をお示しをさしていただいて、年明けぐらいには皆様にもう一度こういう説明会を開催をさせていただき、それから個別の対応について私達はこんなふうに関心あることを考えましたが、いかがでしょうか。ただ、一般的な例から言いますと、このぐらいの人口規模だとこのぐらいのこういう施設が適当だと、適切だというふうに一般的に考えられておりますというようなお話をしながら、皆様とともに考えていきたいというふう

に思っておりますのでご理解いただきたいと思います。よろしくお願  
いたします。

参加者      よろしくお願いたします。ですけど、町長ね小さいことなんだけど去年  
敬老会をやりませんでしたね。みんな楽しみにしていました。まあ金が  
ないということは、そうは言っても、町長から敬老会おめでとうとか何  
とかという文章か何かがあってもいいじゃねえかとは思うんです。それ  
が本当に町と町民の一体となったまち作りに繋がっていくんだと思う。  
去年は敬老会など中止になったけど、なんのこともわからんし、町は  
祝ってくれてるのか喜んでくれてるのかわからん。そこにですね、財政  
状況は厳しいからやらないけど、手紙で書くとかこのぐらいのことがあ  
ってもいいと思うんですよね。今年はどうするかわかりません。細かい  
ことですね。

町長      ありがとうございます。気づかせていただきました。そのようにさ  
せていただきたいと思います。

参加者      私が日頃ちょっと感じてることなんですけれど、多分ここにお集まり  
の皆さんはそれぞれの地区で町のことを大変心配したり、関心持って  
いらっしゃるからこそ今日ここに集まってらっしゃると思うので、私のこ  
れこの発言が爆弾発言なのか訳の分からんボケお婆さんの発言なのかど  
ういうふうに受け取られるかはちょっと私もわかりませんけれど、いっ  
ぺん私が思ってることです。市川三郷町の人口約1万6000弱ですよ  
ねもっと減ってますか。私議員さんの数が多いじゃないかなって思いま  
す。今十何人いらっしゃるから。

参加者      14人です。

参加者      14人の数がちょっと多いと思うんです。私の発言は誰かに怒られそう  
ですけど、半分に減らしたらいいと思います。その代わり、1人当た  
りの報酬を今の倍額もしくは3倍ぐらいに増やしてそれで生計が立てら  
れる具体的に言えば、子育てを最中の若い人も立候補できるという環境  
を作らないと今の収入ではなく、副収入がないと立候補できません。今  
いくらで13万か14万ぐらいですよ。報酬はこれで生活なんかできっ  
こない。当然、何か他に収入がある人しか議員になれない、もっと若く  
て本当にさっきの子育て真っ最中だとか社会問題意識を持ってる方々に



も立候補できるような、そういう体制を作ってくれることにより、そのために一つの案として人数を半分に、1人当たりの報酬をもっと3倍ぐらい増やしていく。そして建設的な意見をどんどん発信して行って住民とのパイプ役をちゃんと果たしてください。そういう体制はいいんじゃないかなというふうに思いましたので。あとで何か言われるかもしれませんがそういうふうに思いました。

総務課長 はい貴重なご提案をありがとうございます。ご意見を議会の方にきちんと届けて参りたいと思いますのでよろしくお願いたします。

参加者 明日の夜どうしてもあの時間が取れなかったのこちらで来させていただきます。申し訳ありません。質問なんです説明の中で何度か出てくる取り組みの行政のスリム化という言葉があるんですが、行政のスリム化というのは具体的にどのようなことなのか教えていただきたいです。

総務課長 ご質問ありがとうございます。行政のスリム化、一言で言ってしまうと簡単なんですけれども、いろんな取り組みがあらうかと思っております。そのうちの一つ一つということでご理解いただければと思っておりますが、現在の我々組織としての構成が実際に正しい適正な配置がされているかどうかもっと忙しいところがあるのか、暇なところがあるのかとか、そういうことも含めて、組織の再編をして、適正な部署の方ところに適正な数を置いて、それから必要があるかないか検討する組織施設統合等を見直しをすることで、そこに担当している職員等も見直しができるんじゃないか。そうすれば、皆様にご負担いただく人件費の部分も若干でも減らしていけるんじゃないかなということも一つだと思っております。

参加者 ありがとうございます。

参加者 入口でアンケート用紙渡されたんですけどね。そのアンケートの結果をどんなふうに出すか、聞きたいんですよ。例えばここにいろいろな施設がありますよね。それを減らした方がいいなんていうことが皆さんの中からたくさん出るわ、町民の意見が多かったからこれ出しますよっていうようなことだと責任を感じますし、それでここに書かれてることは、これは町でOKを出して、これを二つを一つにしたいんですけどどう

ですかって問いかけると筋のものなんですよ、これはかかれてるものは。例えば学校が申しあげたら、学校が今問題があるから、これいくつにしたいんですけどどうでしょうか、当然町民に理解を聞く会合はあると思うんですけどね、ここに書かれたことで何か私達を書いていいものかないかって。どんなふうに取り扱うかだけそれだけを聞きたいんですけど。

総務課長

ありがとうございます。まずはですね、先ほどのご説明と同じような形になりますけれどもこの後、現在進行形ですが、我々職員の方でどんなふうに改善をしていったらいいのかということ、若手の職員と係長さんのところで考える部会、それから管理職である私ども関係課長さんが考える幹事会、それからこの上にあります町長さんたちの本部会、そして先ほどちょっと説明、質問もありましたが、外部の推進員さんたちそして議会の皆様、いろんなところで段階で検討をしながら、こういう方針で、皆さんいかがでしょうか一緒にぜひ考えてくださいという事をこれからさせていただくのが段階になっていくと思います。まずそれについてはもちろん皆様にお示しをしてからになりますので、年明けになろうかと思えますけれども、そのときにもう一度こういう行政の説明住民説明会をさせていただくということで考えておりますので、そのための皆様がどんなふうに町の方で臨まれてるんだらうかという参考資料にはさしていただきたいというふうに思っておりますし、もし、個別具体的にですねこんなことはどうだらうかどんなふうに思ってるんだ、町の方ではという投げかけとキャッチボールをさせていただきさせていただきたいということであればですね、連絡先お名前を書いていただければ、こちらの方としては対応しやすいというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

参加者

アンケートの結果で、左右されるようなことないですね、アンケートが多かった。アンケートのってなかったとか、それでその対応をしない必要なアンケートに捉われなくていいですね。

総務課長

はいその通りでございます。あくまでも参考というか皆様のお考えをなど確認しておきたいということでございます。それだけに、皆様がそういったからそうしたから、とてもそんなことは考えておりませんのでご理解いただきたいと思えます。

参加者

14 ページの施設のところなんです。他の自治体さんに比べて合計の施設が少ない多分削減がかなり厳しいかなと思うんですが、例えばその小学校と中学校が6つ、4つ。小学校に関してはいずれも距離がすごく遠くて上野小と大塚小、例えばその2校で見ても、もう小学生が通うには相当厳しい距離だと思うんですけど、その学校の数を減らすといったようなこのことを現時点で検討されているのかということを知りたいです。あと私今大学生で県内の大学生で個人的にある企業さんのインターンシップに参加した際に、この町のその六郷地区でマンツーマン事業といったオンデマンドバスを出すような実証実験をされているという話を聞いたんですが、そういったもん民間企業さんと関わってスクールバスを運営して、仮に廃校するとして近くの学校の子たちが別の小学校や中学校に通えるといった環境を作るということを検討されているのかということを知りたいです。

総務課長

ありがとうございます。先ほどもちょっとお話をさせていただきましたが、個別の内容については今現在検討中でございますので具体的なことはちょっとお話ししかねます。ただ丁寧にもろんなお話を相談させていただきながら考えていかなければいけないと思いますし、先ほど教育長先生がおっしゃってくれたように、子供が学校のことに関しては多分子供さんの一番いい環境で勉強ができるにはどういうふうにしたらいいいんだろうということを考えながら、いろんな関係者と相談をしたり、地域の皆様や保護者の皆様と、もちろん丁寧にご相談をさせていただき中で考えていかなければいけないと思っておりますので、ご理解いただきたいと思います。それから、民間との協働の中でいろんな事業ができるかということは私達の方でも考えておりますし、今日の資料の中でもちょっとご説明できなかったかもしれませんが、いろんなところで先ほど町長もお話しましたがラウンドテーブルとあって、町内の企業さんと一緒にまち作りのことを考えれば、それから町内の企業さんが、さらに良くなっていくための会議を設けたりですね、全体としていろんな事業を考えると、今度は民間の資金を導入しながら、PFIとかPPPという手法がございますので、ともにウィンウィンになれるような形で民間資本の導入を検討しながら考えていくということは数年前から取り組み始めておりまして、なかなかちょっとこういうコロナの関係もあったりしてですね、うまくいかない時がありましたけれども、また今後はいろんな手法を考えて共同してやっていきたいというふうに考えております。

参加者	はい、ありがとうございます。
参加者	はい。大体最後にやっぱり具体的なことを言えないんだと思うんですけど、やっぱり具体的な、これを潰してこれを作りますとか、何か議員さんを減らしたりとか、そういう何かわかりやすいものがやっぱり大事がわからないとやっぱり僕らもうわかりましたしか言えない。わかんないけどわかりましたしかいないっていうか、そこが一番大事なのかなっていうことが、はい思いました。あと同時に僕は思うんですけど、やっぱり僕らはなんか町長さんとか議員さんに説教をしたんだけど、そもそも僕らを選んだんだっていうことを何かこう自覚しておきたいですね。そんなに文句言うなら、いや選んでも選んだのは僕たちなんでっていうことはすごいここに留めておいてほしい。僕もですけど、まずそれは思いません、はい。
総務課長	ありがとうございます。具体的なことは現在検討中ですし、この後またいろんな方針が決めて、決まりごととしてはではないですが、皆様にご相談を申し上げる方針が出たところで、個別の内容については具体的にご相談を始めるというふうになると思いますのでまたそのときはよろしくお願ひしたいと思ひます。また私も町民の1人としていろんな思ひでお話伺ひました。ありがとうございました。

(5) 閉会 午後9時10分